

## 研究タイトル：『古事記』『日本書紀』をはじめとする上代文学の研究



氏名：	藤崎祐二／FUJISAKI Yuji	E-mail：	fujisaki@ga.ariake-nct.ac.jp
職名：	助教	学位：	修士
所属学会・協会：	九州大学国語国文学会、説話文学会、上代文学会、西日本国語国文学会		
キーワード：	上代、古事記、日本書紀		
技術相談	・日本文学(古典) ・		

**研究内容：** 記紀に使用される漢字の読みと語義を再検証し、新たな解釈の可能性を探る。

記紀は漢字で書かれているため、日本語で読むことは容易ではなく、注釈書によって読みの異なる語は多い。また、長い注釈史の中で支持され、定着した読みの中にも、再考の余地のあるものは少なくないと考えられる。そこで、作品中に使用される漢字の読みと語義を再検証することで、作品の新たな解釈の可能性を探る。

### 【主な論文】

- ・「上代における「カムガカリ」の語義—『日本書紀』の「顕神明之憑談」を手がかりとして—」、『語文研究』127号、2019年。
- ・『日本書紀』倭迹迹日百襲姫の託宣における「憑」についての考察、『語文研究』、125号、2018年。
- ・『古事記』神功皇后の託宣における「神婦」についての考察、『西日本国語国文学』、4号、2017年。
- ・「上代における「カムガカリ」と憑依—『日本書紀』の「顕神明之憑談」を中心として—」、『語文研究』、121号、2016年。
- ・『万葉集』「恋男子名古日歌」における「カカラズモカカリモ」再考—記紀「カムガカリ」の内実を知る手がかりとして—」、『語文研究』119号、2015年。
- ・「上代文献における「託」と「憑」の用例」、『文献探究』52号、2014年。
- ・「上代における「託」の訓に関する一考察」、『語文研究』116号、2013年。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	